

令和7年4月

保護者の皆様へ

大阪市立育和小学校校長 青山 真丈

学校生活のやくそく

育和小学校では、すべての子どもたちが安全・安心に学校生活を送ることができ、集中して学習が行えるように、以下の約束を子どもたちに伝えています。（紙面の都合上、校内生活の項目は子ども用にのみ記載しています。）ご家庭でも子どもたちが約束を守れるようにご協力よろしくお願いします。

※印は保護者の皆様に特に協力して頂きたい内容になっています。

1. 登下校

- ① 地区子ども会の班で、きまりを守り集団登校をする。
- ② 見守り隊や地域のみなさん、友だちや先生に元よくあいさつをする。
- ③ 午前8時10分～8時25分の間に登校する。
※8時10分より早く来ないようにしてください
- ④ 3月～10月は午後4時30分まで、11月～2月は午後4時15分までに下校する。
- ⑤ 下校のときも、決められた通学路を通して帰る。
※帰宅せずに塾や習い事に行かせないでください。
※子どもの体調不良やご家庭の用事で早退をする場合は、必ずお家の方が迎えに来てください。

2. 服装

- ① 標準服に黄帽を着用し、左胸に名札をつける。
・標準服は、紺の上着、白のブラウス（ポロシャツ）、紺のズボン・スカートとする。
・名札は、登下校の間は胸ポケットに入れる。1年生は裏返す。学校に着いたら見えるように出す。名札に飾りはつけない。
・寒いときは、上着の下に紺色または黒色のセーター・ベストを着てもよい。
・上着を着ずに、セーター・ベストだけで登校しない。
・ジャンパー・手袋・ネックウォーマーを着用してもよいが、教室に入ったらぬぐ。（マフラー、耳あてなどは着用しない。）
・11月～3月は、防寒着として、紺色または黒色の長ズボン・タイツ・レギンスをはいてもよい。ただし、体育の学習では着用しない。（タイツの場合は、靴下を持って来る。）
※長ズボン・タイツ等の着用を始める日は、連絡帳で担任までお知らせください。
※体育を見学する場合は、その都度、連絡帳で担任までお知らせください。
- ② アクセサリー（ピアス、ネックレス、ミサンガなど）はつけない。
※化粧やマニキュアなども塗らないでください。

- ③ 髪の毛は、清潔にすることを心がけ、染めたり、パーマをかけたりしない。
※健康上や身だしなみの問題もありますが、他の児童が怖がったり、外見に気を取られて内面の成長を疎かにしたりしないようにする為ですので、ご協力をお願いします。

3. 持ち物

- ① すべての持ち物に名前を書く。
- ② 学習に必要な物はありません。（学校で集める以外のお金、ゲーム、カード、飾りのキーホルダー、カイロ、お菓子、スマートフォンなど）
- ③ 水とうにお茶や水を入れて持ってきてもよい。友だちにお茶や水をあげたりもらったりしない。
※糖分の摂りすぎを防ぐため、ジュースやスポーツドリンク等はいれしないでください。
- ④ 防犯ブザーは、常に準備しておく。点検をして音が出るか確かめておく。

4. 校外生活

- ① 交通ルールを必ず守る。
- ② 外出する時は、①いつ②だれと③どこへ④何をしに⑤何時に帰るのかを必ず伝える。
- ③ 暗くならないうちに帰宅する。（季節にもよるが、低学年5時ごろ、高学年6時ごろ。）
※下校後、忘れ物を取りに来る場合は安全確保のため保護者同伴で来てください。
- ④ 夜間や人通りの少ない道の一人歩きはしない。
- ⑤ 公園では、他の利用者や周りの住民に迷惑にならないように遊ぶ。
- ⑥ 道路や駐車場、川の近くなど危険な場所では遊ばない。
※マンションの廊下やロビーなど地域の方の迷惑になる場所でも遊ばせないでください。
- ⑦ 危険な遊び（火遊び、道路でのボード類の遊び、エアガンなど）はしない。
- ⑧ 家の人がいなときは、友だちと一緒に家の中で遊ばない。
- ⑨ 子どもだけでスーパーマーケットやコンビニ、飲食店、校区外（プール、カラオケ、映画館など）に行かない。
※特に校区外には子どもだけで行かせないでください。
- ⑩ お金や物（ゲーム等）の貸し借りや交換、おごり合いはしない。
- ⑪ たくさんのお金を持ち歩かない。
- ⑫ 携帯電話やインターネットを使う時は、家の人との約束やルールを守って使う。
- ⑬ 「LINE」や「Tik Tok」など、SNSで自分や他人の個人情報アップロードしない。
※最近、SNSでのトラブルが頻発しています。インターネットを使う際のルールを子どもと決めたり、保護者が内容を確認できるようにするなどして、子どもが適切に利用できるようにしてください。
※学校への携帯電話の持ち込みは禁止です。登下校みまもりサービス（有料）をご利用ください。
- ⑭ 知らない人に誘われても絶対について行かない。
- ⑮ 路上や公園等で危険な目に会いそうになったら、大声を出したり防犯ブザーを鳴らしたりする。そして、近くの大人や民家、「子ども110番」の旗のある家に助けを求め、すぐに家の人と警察へ連絡する。
※普段から事件や災害にあった時にどうするかを話し合っておいてください。